

## 歴史・文化サイトカード

通しNo.	1-A-18	更新日	2025/5/22
サイト名	『出雲国風土記』にもある天然の良港～宇龍港		
基本情報	区分	<input type="checkbox"/> 有形 <input type="checkbox"/> 無形 <input checked="" type="checkbox"/> その他	
	所在地	出雲市大社町宇龍	
	指定別		
	種別		
	指定／登録年月日		
	管理団体／モニタリング	大山隠岐国立公園	
	周辺施設／アクセス	<input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 売店 <input type="checkbox"/> 飲食店 <input checked="" type="checkbox"/> 駐車場(38台)	
サイトの解説	歴史・文化	<p>島根半島の北西端、日御崎の東に位置し、日本海に臨む。『出雲国風土記』には、「宇礼保浦(うれほうら)は、広さ七十八歩あり。船が二十隻ばかり泊まることができる」と記されている。船は、民間の小型船では無く、官用の大型船のことと考えられている。古代より良港であったと思われる。</p> <p>戦国時代になると尼子氏が直轄港とし、天文一永禄年間(1532-70)以後は出雲鉄の積出を宇龍津に限定したため、これを求める北陸、因伯方面や大陸からの唐船など多数の船で賑わい、また問屋もおかげで空前の賑わいとなつたと伝わる。さらに江戸時代になると、松江藩の登せ米の積出港、あるいは北国米、その他の消費物資の移入港として諸国廻船の出入りで賑わった。藩の倉庫跡が宇龍港の東に残っている。県指定天然記念物の黄金孟宗群落(おうごんもうそうぐんらく)は日本で唯一の自生地。</p> <p>また、毎年旧暦1月5日には、権現島でワカメの豊漁と海上安全を祈願する和布刈(めかり)神事が日御崎神社の神職等によって営まれる。</p>	
	地形・地質、生物・生態等	宇龍地域は、島根半島の西端域にあって、西は日御崎、東は桁掛半島によって湾入状の地形をなし、季節風の直接の影響を受けにくい場所である。この地域には、およそ1,600万年前の流紋岩の火山活動でできた溶岩と水冷破碎して角礫化した溶岩および同質の火山碎屑岩が分布している。これらの岩石は風化に対する抵抗が異なるため、湾内には権現島などの侵食で残った大小の島々が分布し、海岸も複雑な凹凸のある地形をなしている。北前船が往来した江戸期、明治初期に良港であったのは、このような島根半島での場所と地形によるものである。	
写真・図等		 宇龍港に浮かぶ権現島	 松江藩のお手船蔵跡
参考文献	角川日本地名大辞典・島根県		